

ボランティア募集掲示板

今回は、放課後等デイサービスでのボランティア募集情報を紹介します。
放課後等デイサービスとは、支援を必要とする小学生以上の児童に対し、放課後や学校の休業日に、生活能力向上を目的とした訓練等の支援を行う福祉サービス施設です。
“自分にできる”ボランティア活動を始めてみませんか？



児童のサポート 元気一杯のこどもたちと遊びます

施設名 放課後等デイサービス さんばち
場所 西京区桂乾町53-75
日時 月～金曜日 13時～17時 及び長期休暇期間 (10時～17時の都合の良い時間)
担当者 森田
TEL 075(754)7357 **FAX** 075(754)7357

児童の見守り・一緒に遊ぶ

施設名 重心型放課後等デイサービス ごっこ
場所 西京区大枝沓掛町1-19
日時 月～金曜日 16時～17時 / 土・祝日 11時～16時
担当者 草薙(クサナギ)
TEL 075(925)9322 **FAX** 075(925)9344

室内外での児童の関わり、サポート

施設名 放課後等デイサービス ま～る
場所 西京区大原野上羽町388
日時 月～金曜日 午後の活動可能な時間帯
担当者 辻
TEL 075(335)0222 **FAX** 075(335)0233

音楽活動の補佐

施設名 児童発達支援 バンブー
場所 西京区大枝東長町1-310
日時 火・水・金曜日 10時～12時
担当者 牧野
TEL 075(874)7600 **FAX** 075(874)7900

■放課後等デイサービスについて

小学校1年生から高校3年生(6歳から18歳 特例で20歳まで)の障がいを持ったお子様や発達に特性を持っているお子様が利用できる福祉サービス施設です。生活能力向上のための訓練等を継続的に行い、日常生活動作の指導、集団生活への適応訓練等を支援する療育の場であるとともに、放課後の居場所としてや、またレスパイトケア(ご家族に代わり、一時的にケアを代替することで、ご家族の日々の疲れ等をリフレッシュしてもらう家庭支援サービス)としての役割も担っています。

放課後等
デイサービス以外での
ボランティア活動に
しても、お気軽に
ご相談ください!



災害ボランティアセンターの啓発をしました



災害時に、被災者の力になりたいとボランティアが活動されることは広く知られていますが、そのボランティアに活動を紹介するなどのサポートを行う災害ボランティアセンターはあまり知られていません。

区総合防災訓練(10月27日)の中で、もしもの時にスムーズに連携できるよう、自主防災会の方を中心に災害ボランティアセンターの機能と役割を紹介しました。

参加いただきました皆様、たいへんお疲れさまでした。

問合せ 西京区ボランティアセンター TEL:075(394)5711 FAX:075(394)5712

陽だまり通信

やさしさあふれるまちづくり

No. 57 令和元年度 No.2

社会福祉法人
京都市西京区社会福祉協議会
京都市西京区櫻原百々ヶ池31-18
西京ふれあい地域福祉センター内
TEL.394-5711 FAX.394-5712
<http://www.kn-cosw.jp/>



除幕式の様子



西京ふれあい地域福祉センター

収益の一部が
福祉活動に
還元されます!

赤い羽根共同募金



西京ふれあい地域福祉センターに「募金機能付き自動販売機」を設置しました

令和元年12月25日、西京ふれあい地域福祉センター屋外に**募金機能付き自動販売機(赤い羽根自動販売機)**を設置しました。この自動販売機による収益の一部が西京区共同募金会への募金となり、地域での福祉活動に還元されます。センターにお立ち寄りの際には是非ご利用ください。

社会福祉協議会の「ふれあう」活動

高齢者、障害のある人、子育て世帯等、
地域のなかで誰もが自分の居場所や役割を実感できる場づくりが進められています。

榎原社会福祉協議会 居場所サロン



榎原学区の居場所サロンでは、スカイクロスを月に6回、史跡公園と梅園児童公園で実施しています。史跡公園では他学区からの参加もOK! 和気あいあいとした雰囲気の中、参加者の方はおしゃべりを楽しんでいます。

この活動の担い手である榎原社協の古勝さんは「家にひきこもらず、積極的に参加してもらうことで行動範囲が広がり、また行きたいと思ってもらえるような楽しい居場所にしていきたい」と話され、熱い思いが伝わってきます。

体を動かすことが
介護予防の第一歩!
あなたのご参加を
お待ちしております。

榎原社協の
古勝さん(左)と
芝田さん(右)



大原野社会福祉協議会 ふれあい事業「なぬか会」



「なぬか会」の活動は、年7回、毎回7日頃に行われます。19名のボランティアスタッフで企画・運営しており、65歳以上の会員がお花見や食事会、児童との伝承遊びなどのプログラムに参加できます。

この日は、上里小学校の1年生と一緒にコマ回しやあやとり、ゴム鉄砲、草ずもうなどの「むかしの遊び」を楽しみました。むかしの遊びを教えてもらったお礼に子どもたちから肩たたきのプレゼントがあり、会場は「子どもたちに元気をもらった」という参加者の笑顔であふれていました。

スタッフである大原野社協の皆さんは「地域の方に支えていただいてこの活動が成り立っています。活動に参加することで、いろいろな人と知り合え親しくなれます。新しいつながりが生まれ、自分の見方も広がりました」「会員さんからの『ありがとう』『よかったわ』という言葉がうれしく、活動していてよかったなと思います」と、活動に対するやりがいを話してくれました。



「なぬか会」役員の
波多野さん(左上)、岩崎さん(右上)
辻さん(左下)、小原さん(右下)

第27回 西京区社会福祉大会

令和元年12月7日 ホテル京都エミナースにて開催しました。

■ 第1部 式典

西京区における社会福祉活動の功績が顕著である個人・団体の98名と4団体の方々に対し、小石玖三主会長から表彰状と感謝状が授与されました。



■ 第2部 西京区地域福祉推進シンポジウム

「地域共生社会の実現に向けた提言 ～孤立や困窮に向き合う実践から～」をテーマに、京都市保健福祉局健康長寿企画課 寺田玲地域福祉推進専門官から京都市が目指す取組についてご講演いただき、続いて、大原野民生児童委員協議会 小原節子会長、西京区社協 達本章世地域あんしん支援員、桂の泉学園 山岡昌彦施設長から、地域で孤立している方や支援が必要な方への寄り添い支援等について実践報告をいただきました。



京都市地域支え合い活動創出事業

地域支え合い活動入門講座を開催しました

令和元年9月、西京老人福祉センターと洛西老人福祉センターで地域支え合い活動入門講座を行いました。

この講座は、高齢者向けの支え合い活動等を希望される方に対して、生活支援に関する基本的な知識や、活動を始めるために役立つ情報を得られる講座です。



洛西会場

西京会場

西京区地域支え合い活動創出コーディネーターから...

「助けて!と誰かに言うことは難しいですね。地域の「困った」、「助けて!」という気持ちと講座を受講された皆様の「自分は〇〇が得意!お手伝いしますよ!」という気持ちをつなぐことで支え合いの輪が地域に広がっていくのだと思います。

講座受講生にインタビューしました!

- Q.** 講座を受けようと思ったきっかけは何ですか?
A. 自分にもできることがあればやりたいと思ったからです。
- Q.** 講座を受けられてから何か活動はされましたか?
A. 近所に住む家族を介護をされている方に「お手伝いできることがあったら言ってくださいね」と伝えたのですが、遠慮されているようでした。

地域支え合い活動創出コーディネーターとは

京都市が地域で高齢者を支えていくために必要な生活支援サービスの創出や担い手の養成、ネットワークの構築を目的として各区社会福祉協議会に配置しているコーディネーターです。

西京区地域支え合い活動創出コーディネーター 小原



「区総合防災訓練」に参加しました

10月27日に桂川中学校で実施された区総合防災訓練では、消火訓練や炊き出し訓練等の様々な訓練が行われ、西京区社協からは障害のある方と区ボランティアグループ連絡会のメンバーが参加しました。障害のある方もない方も、災害時に地域の一員として助け合うためには、日頃から近隣住民と顔の見える関係を築いておくことが大切です。参加者の80%が「災害が起きたときに不安なことがある」と言い、「障害のある方にも十分に情報が伝わるようご近所からのサポートがあれば安心」という声も聞かれました。



消火訓練の様子